

講義名	スポーツ科学演習 A (ゴルフ)			授業形態	
担当教員	坂井 隆秀	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	SP0130
主題と概要					
ゴルフは、手軽に行うことの出来るスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しめる生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。					
到達目標					
1．「健康」獲得の方法を修得できるようになる。 2．歴史やルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。 3．基礎技術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。					
提出課題					
基本的なクラブのスイング方法について理解し、習得しているかレポートの提出を課します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。					
評価の基準					
* 授業実施時間数の 4 回以上欠席したものは単位を認定しない。 * 授業中の評価：受講態度・実技点など・・・８０％ * 期末期の評価：レポート提出・・・２０％					
履修にあたっての注意・助言他					
ゴルフ初心者の方を対象に授業を進めていきます。 参加者により授業内容を変更する場合があります。 授業前・後は必ずマスクを着用することとし、授業中については教員の指示に従うこと。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					

その他	
授業計画	
第 1 回 ガイダンス 本授業の目的、進め方、評価等について 予習内容：シラバスの内容を事前に確認し、理解した上でガイダンスに出席すること（120分） 復習内容：ガイダンスの内容を再確認し、次回の授業に備えること（120分） 第 2 回 スイングの基本 クラブを正しく握る 予習内容：ガイダンスの内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 3 回 スイングの基本 正しく立つ方法 予習内容：前回の授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 4 回 アイアンの基本 ミドルアイアンの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 5 回 アイアンの基本 ショートアイアンの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 6 回 アイアンの基本 ロングアイアンの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 7 回 旗竿、旗竿を用いた様々な練習方法を学習する 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 8 回 クッドの基本 11 演習 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 9 回 クッドの基本 フェアウェーウッドの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 0 回 のエッジの基本 シェッドウェッジの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 1 回 のエッジの基本 サンドウェッジの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 2 回 バッティングの基本 パターのグリップとアドレス 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 3 回 バッティングの基本 パターのグリップとアドレス 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 4 回 バッティングの基本 バックテイングの実践 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること（120分） 第 1 5 回 まとめ 予習内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること（120分） 復習内容：全授業内容を再確認し、理解を深めること（120分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	○カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の 5 項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。 集団や個人でスポーツ実践へ取り組み中で、明るく元気で、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかりと言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力。つまり「ネアカ のびのび へ きたらず」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を発見し、自らが進んで取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組みることにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。 生涯にわたってスポーツと関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。 以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
備考	